

「地域医療」分野

- 1 目的 丸亀市の「公衆衛生」を題材に、保健所が予防・相談・検査等の医療的な活動や福祉面での支援、生活環境の保持・改善などを行い、地域住民の健康と安心を守る役割を果たしていることを知り、地域医療が医師や看護師だけでなく多くの職種に支えられていることを知る。また、地方創生をテーマとした課題研究における地域医療分野での課題発見・解決の糸口とする。
- 2 日時 平成28年6月22日(水) 13:10~15:30 [A週65分]
- 3 場所 香川県中讃保健福祉事務所(以下「中讃保健所」)(丸亀市土器町)
- 4 参加者 1年生「地域医療」分野選択者59名(男子32名、女子27名)、教員3名
- 5 内容等

研修室にて、「保健所の役割と公衆衛生」についての講義を受けた。その後、2グループに分かれて、「施設見学」「体験」を行った。施設見学では、中讃保健所内の試験検査室、診察室、レントゲン室を見学して説明を受けた後、レントゲン車、患者移送車等を見学し、感染症患者の搬送を体験した。また、防護マスクや防護服を身に付けて、実際の感染症対策を学んだ。生徒は、身近な保健所が地域全体の健康を守る役割を担い、多くの医療関係者が公衆衛生に関わっていることに驚きを感じたようであった。



6 生徒の主な感想

- ・保健所は、地域全体の衛生を守っていることが分かった。
- ・今まで知らなかった保健所の地域での役割を知ることができた。
- ・地域全体の健康のためにも保健所は欠かせないと思った。
- ・医療というと病院のイメージだったが、保健所にもたくさんお世話になっていることが分かった。視野が広がった。 ・自分が想像していた保健所とは違っていて驚いた。
- ・保健所は、犬などを殺すためだけの場所だと思っていたが、主に人に対して感染症予防をしていることに驚いた。これも職業選択の一つに入れたい。
- ・アイソレーター、カラム、バイオハザードなど聞き慣れない単語にただただ戸惑うばかりであった。しかしながら、保健所の実態を掴むことができ、自分たちの生活を縁の下から支えてくれる仕事の数々に興味を持った。
- ・清潔さをしっかり保っていて、素晴らしいなと思った。
- ・医師や薬剤師、獣医などいることが分かった。 ・保健所に医師がいることに一番驚いた。
- ・いろいろな資格を持っている人が集まって、地域全体の健康を護っていることが分かった。私も保健所で働いてみたいと思った。
- ・医療に携わりたいと思っているが、多くの方法で関わることができると分かり、将来の選択肢が広がった。
- ・病院との違いがよく分かり、とてもよい経験になった。
- ・医療機関との共通点や違い、またどのように連携しているかなどを知ることができた。
- ・今まで保健所の役割や病院とのつながりをよく理解していなかったが、見学を通して、予想以上の体験ができて良かった。 ・実際に感染者を運ぶ体験ができてよい経験になった。
- ・感染症の患者を運ぶ車椅子などは、外から圧力がかかっている、菌やウイルスなどが外に出ないようにしていることにびっくりした。 ・絶対に見られない部分を見られて良かった。
- ・少し聞いてみたいことがあったけどタイミングを逃した。自分の地元で聞いてみようと思う。